

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20656	
事業名	観光施設運営管理費						
評価担当課	所属名	経)観光・MI 観光・MICE					
	課長名	西村、西田、新居	担当者名	園部、横田、栗原	電話番号	211-2376	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外		
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費	<input type="radio"/> 臨時的経費					
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理				
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input checked="" type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他	
	目的	短期	利用者の安全を確保し、施設の利便性を維持するため、施設の維持管理・修繕を確実に実施する。				
		長期	利用者の安全を確保し、施設の利便性を維持するため、施設の維持管理・修繕を計画的に行う。				
	取組内容	観光・MICE推進部所管の施設等の修繕・保守点検を行う ①観光関連施設等の維持管理・保守(定山溪・藻岩山) ②指定管理者制度導入施設(コンベンションセンター、ユースホステル)に係る指定管理者との協定に基づく、市の分担となる維持管理・備品購入					
実施結果	施設の維持管理・修繕を計画的かつ確実にを行うことが出来た。 また、定山溪地域及び藻岩山の観光関連施設等及び指定管理者制度導入施設から、計画外かつ要望があったもののうち必要なものについても確実にを行うことが出来た。						
事業実施における工夫点	定山溪地域及び藻岩山の観光関連施設等及び指定管理者制度導入施設と連携をとっている。						
対象者	市民、観光客等の施設利用者			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	札幌コンベンションセンター条例、札幌市ユース・ホステル条例						
他都市の状況	他都市においても維持管理・修繕を実施している。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	149,170	83,000	66,073	47,520
うち特定財源	0	2,849	2,889	2,890
人工	1.3	1.3	1.3	1.3
人件費	9,360	9,360	9,360	9,360
計(事業費+人件費)	158,530	92,360	75,433	56,880
事業費の内訳	令和3年度決算	定山溪: 13, 934千円 藻岩山: 2, 646千円 札幌コンベンションセンター: 25, 518千円 札幌国際ユースホステル: 23, 975千円		
	令和4年度予算	定山溪: 21, 718千円 藻岩山: 4, 242千円 札幌コンベンションセンター: 19, 503千円 札幌国際ユースホステル: 2, 057千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	定山溪の宿泊者数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	361,000人	700,000人	394,000人	800,000人	
活動指標2	指標名	札幌コンベンションセンター稼働率(大ホール)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	54.30%	80%	81.40%	80%	
成果指標1	指標名	定山溪の宿泊者数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	361,000人	700,000人	394,000人	800,000人	
成果指標2	指標名	札幌コンベンションセンター稼働率(大ホール)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	54.30%	80%	81.40%	80%	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	施設等の修繕・保守点検を行うことで、施設利用者数や稼働率の安定的な結果に寄与している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	他都市においても、施設等の修繕・保守は行われおり、事業水準は妥当である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	関連団体と連携をとり、施設等の修繕・保守について適切に事業を進めている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	関係団体と連携をとり、必要な修繕については適切に執行出来ているため、一定の満足度は得られていると考える。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	修繕に関する予算措置は、今後も緊急的に対策が必要と考えられるものが生じた場合について予算要求していく。なお、定山溪については、老朽化に伴う大規模補修の他、景観に配慮した小規模修繕を含め、定山溪観光魅力アップ構想に基づき、長期的な視野に立ち、計画的に修繕を行っていく必要がある。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	関連団体と連携をとり、施設等の修繕・保守について適切に事業を進めている点について、一定の評価ができる。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 施設維持と必要最低限の修繕は予算の範囲内で今後も継続的に実施していく。また、緊急的に対策が必要と考えられる修繕については予算要求していく。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 施設維持と必要最低限の修繕は予算の範囲内で今後も継続的に実施していく。また、緊急的に対策が必要と考えられる修繕については予算要求していく。		見直し効果額	0 千円